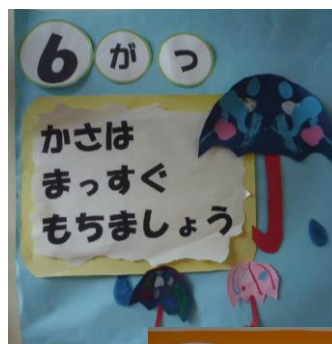


＜安全ポスター＞

毎月安全テーマを決めて安全ポスターを作成し、幼児と保護者に安全の意識を高める。

小掲示板テーマ「安全」	
月	標語
6	あめのひの かさは まっすぐもちましよう！
7	みずあそび たのしいけれど きをつけて
8	いかのおすし (いかない のらない おおごえでさげふ すぐにげる しらせる)
9	ひなんくんれん おはしも (おさない はしらない しずかに もどらない)
10	あわてずに しんごうよくみて わたろうね
11	ゆうぐのおやくそく にもつはおいで あそぼうね
12	だんぼうは すこしはなれて あたたまろう
1	かじのひなんくんれん はんかちで くちとはなを おさえよう
2	さむくても てをだして あるこうね
3	じしんのひなんくんれん ゆれてるよ しっかりあたまを おさえましよう



＜安全・防災だより＞

年間を通して実施した避難訓練や安全指導の内容を保護者や地域に発信しました。



A園の安全教育年間計画

期	月	安全教育年間計画		
		避難訓練	交通安全	その他の安全指導
Ⅰ期	4	火災（伝達：非常ベル、放送） ○避難訓練の意味や必要性を知る ○避難の仕方を知る ○避難の合図を知る（ベル、サイレン） ○鼻、口にハンカチを当てる ○「おはしも」の約束を知る ・残留園児はいないか人数確認	○安全な通園の仕方を知る ・歩道の歩き方や信号を守るなど、初歩的な交通安全の約束 ・送迎の自転車の乗り方 ・保護者への交通安全について啓発	○園所内の安全な生活の仕方を知る ・通園の仕方 ・遊びの場での安全な過ごし方や遊具（固定遊具を含む）、用具の使い方 ・けがをしたときの対応の仕方 ・小動物とのかかわり方 ・生活や遊びの中で必要に応じた道具や用具の使い方（いす、はさみ、箸等） ・集団での行動の仕方（一人で行動しない） ・園外での安全な歩き方（並ぶ、間隔を空けない） ・光化学スモッグ発令時の対応 *アレルギー対応についての実態把握と対応について保護者や関係諸機関と連携
	5	火災（伝達：非常ベル、放送） ○火災から身を守る方法を知る ○放送や指示を聞き安全に避難する ○身を低くして速やかに移動する	○道路の安全な歩き方を知る ・信号、標識、表示の見方 ・安全確認（左右を見る）の仕方 ・園外保育を利用した信号や標識の見方、横断歩道の渡り方	
Ⅱ期	6	不審者対応（伝達：口頭や音楽） ○園内に侵入した時の避難の仕方を知る ○戸外から速やかに室内に入る ・侵入時を想定した伝達方法の共通理解 ・怖がらせないように配慮する ・警察署と連携した防犯訓練を行う	○雨の日の安全な歩行の仕方を知る ○雨具を身に着けたり、持ったりして歩行する経験をする（傘、雨合羽、長靴） ○園外保育で安全に歩く ・歩道の歩き方、右側通行 ・自動車の前後の横断	○雨の日の過ごし方を知る ・雨具の扱い方、始末の仕方 ・廊下や室内では走らない ○暴風雨、洪水等災害時の危険について知る ・戸外にいるときの落雷の怖さ ・登校園時の危険箇所 ○水遊びのきまりや約束を知る ・プール遊びの約束 ・緊急時に備えた救急救命訓練（AED） ○熱中症の予防について知る ・暑さ指数に注意 ・水分補給、休息 ○生活のリズムを整え、健康で安全に過ごす
	7	地震（伝達：非常ベル、放送） ○地震の時の避難の仕方を知る ○机の下に潜る○避難時は靴を履く ○防災頭巾の被り方を知る	○交通安全教室に参加し交通安全を守ろうという意欲をもつ ・信号、標識、表示の見方 ・横断歩道の歩き方 ・信号や歩道のないときの歩き方 ・飛び出しの危険 ・道路で遊ばない *警察署と連携した交通安全教室	○通園時の約束 ・遊具、用具の使い方 ○集団で行動するときの約束を守る ・集合の合図、並ぶ等
Ⅲ期	8	火災（伝達：口頭） *夏季預かり保育実施期間中の訓練 ○指導者の指示をよく聞いて行動する		○熱中症の予防について知る ・暑さ指数に注意 ・水分補給、休息 ○生活のリズムを整え、健康で安全に過ごす
	9	地震・津波（伝達：エリアメール、防災無線、口頭） ○大阪880万人避難訓練に参加する ○地震から身を守る方法を再確認する ○指示をよく聞き、機敏に行動する ○二次避難場所を知る（近隣小の3階） ・保護者と連携した引渡し訓練をする	○安全な通園の仕方、道路の歩き方等交通ルールを守る ・園外保育等、園外の活動を活用して交通ルールを再確認する	○様々な遊具の使い方、遊び方を守る ・ボールや跳び縄等の扱い ・片付け方 ○集団で行動するときの約束を守る ・指示を聞き、気を付ける
Ⅳ期	10	火災（伝達：指導者の声による指示） *戸外で遊んでいる時を想定 ○近くにいる指導者の指示を聞き、集まる ○煙を吸わないようにする ○次の指示を待って、二次避難する	○信号の正しい見方 ・点滅しているときの判断の仕方、適切な行動 ・道路の渡り方（信号や横断歩道のあるところ）	○様々な遊具の使い方、遊び方を守る ・ボールや跳び縄等の扱い ・片付け方 ○集団で行動するときの約束を守る ・指示を聞き、気を付ける
	11	地震（伝達：非常ベル、放送） ○地震から身を守る方法を再確認する ○防災頭巾を自分でかぶる ○使っていた用具や遊具は置いていく ○指示を聞いて屋外に避難する	○通園時、園外保育時の交通ルールに自ら気を付け、守る ○電車の乗降やホーム、車内で安全な行動をし、マナーを守る	○様々な遊具や用具を安全に使い、片付ける ・次に使う人のことを考えて片付ける ○園外の行動等、集団で行動するときの約束を守る ・指示を聞き、気を付ける ・担任以外の指導者の話にも関心をもって聞く
Ⅴ期	12	火災（伝達：非常ベル、放送、口頭） *好きな遊びの場での避難を経験する ○火災時の行動の仕方を再確認する ○近くにいる指導者の指示を聞き集まる ○使っていた用具・遊具を端に寄せる ・人数確認と避難経路の確保	○様々な状況や場面での交通ルールについて知る ・道路の横断 ・駐車中の車の前後 ・信号の点滅時の判断 ・歩道のない場所での歩行	○体を動かして遊ぶ、戸外で遊ぶ ○動きやすい服装をする ○暖房器具の危険性と安全に関する約束を知り、守る
	1	地震・火災（伝達：非常ベル、放送） ○机やいすの脚を支え、大地震による揺れから身を守る ○自分で防災頭巾をかぶり、鼻、口にハンカチを当て、身を低くして速やかに避難する ・地域の防災訓練への参画	○様々な状況や場面での交通ルールについて判断して行動する ・交通量が多い道路の横断・歩行（横断歩道や信号のある場所を通る） ・自分の耳、目で確かめるよう習慣づける	○体を動かし、安全で活発に行動する ・体を温めてから活動する ・動きやすい服装をする ○園生活に必要な約束やきまりに気づき守る ・暖房機の危険性、安全に関する約束 ・雪の日の安全な遊び方や身支度
Ⅴ期	2	火災（伝達：非常ベル、放送、口頭） *予告なく「火事だ」の声で始める ○近くにいる指導者のところに自ら集まる ○次の指示を聞いて集団で行動する ○火事の怖さ、火事発見時の適切な行動について知る ・消防署と連携した避難、防火、通報訓練	○交通安全を意識し、自分のために判断し、行動する ・進級、就学に向けて、交通安全の意識を高める ・小学校までの通学路における危険な場所を把握し、安全な歩き方について実際に保護者と歩いて、確認しておく（保護者への啓発）	○身の回りの安全に自ら気づき、判断し、行動する ○園生活に必要な約束やきまりに気づき守る ・暖房機の危険性、安全に関する約束 ・雪の日の安全な遊び方や身支度の仕方 ・今年度の取組の反省を生かし、次年度の取組内容の立案する
	3	地震・津波（伝達：非常ベル、放送） *予告なく行う ○大きな揺れが続いているときの自分の身の守り方を考え、行動する ○防災頭巾を自分でかぶり、鼻、口にハンカチを当てる（持ち物の確認） ○指導者の指示を集中して聞き、二次避難場所に移動する（近隣小の3階）	平成29年3月の改訂（定）で保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領では「災害への備え」の項目が新設され、避難訓練実施の義務付け、園所内の体制の整備について示されています。	



お花の冠、きれいでしょ」



「おいしそう 食べてもいい？」



「ペダルをギュッとしてごらん。
ほら、動いたよ」



『飛行機、ブーン』



「お姉ちゃん、もう 1 回、読んでー」



「タマネギの皮をむいたから、
美味しい給食」



第3章

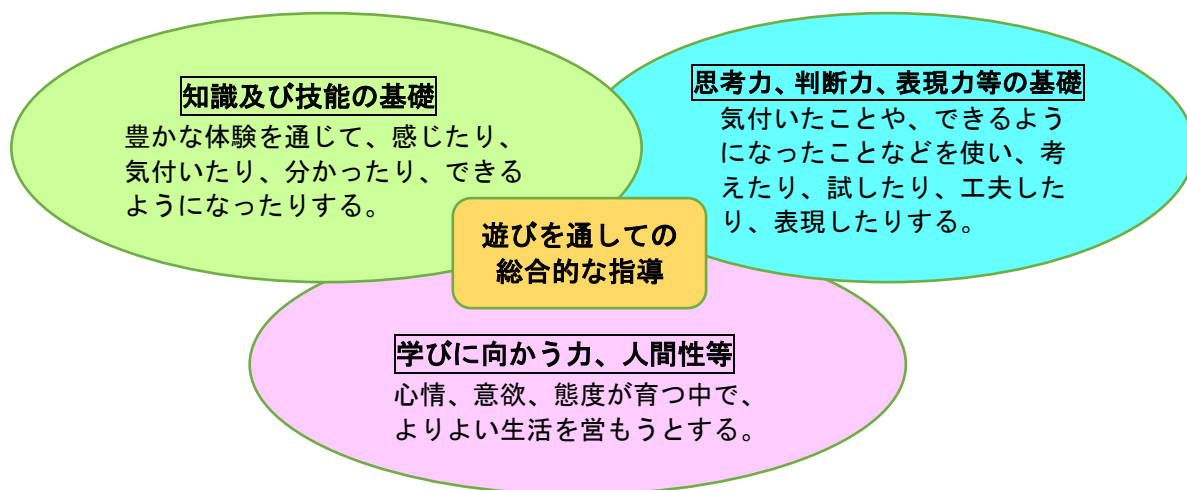
小学校教育への接続

1 就学までに育ってほしい姿

幼児期の教育は、生涯にわたる自己実現の基礎となる力を身に付けるものであるとともに、社会の一員として生きていくための資質や能力の基礎を培う重要なものです。幼児期に培われた資質・能力が、特に小学校での生活や学習に深くつながるため、小学校教育への円滑な接続が求められています。

改訂された幼稚園教育要領（保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領）では、「生きる力の基礎を育むため、（中略）幼稚園教育の基本（保育の目標、幼保連携型認定こども園における教育・保育の基本）を踏まえ、（中略）次に掲げる資質・能力を一体的に育むよう努めるものとする。」として、3つの「育みたい資質・能力」（3つの柱）をあげ、小学校以降の教育へつないでいます。

「育みたい資質・能力」（3つの柱）



また、幼稚園教育・保育所保育・幼保連携型認定こども園の教育・保育において、上記の「育みたい資質・能力」が育まれている具体的な姿として「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示されています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10の姿）

健康な心と体

就学前施設の生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。